

研修プログラムの概要

外科では、研修医の皆様が段階的にスキルアップできるよう、以下のようなプログラムを用意しています。

術前・術後管理

患者さんの状態把握、検査オーダー、投薬、術後合併症の管理など、基本的な病棟業務を習得します。

手術参加

手術見学から始まり、指導医の指導のもと、清潔操作、開創、縫合、結紮などの基本手技を習得。徐々に助手として参加し、将来的には執刀医としての経験も積みます。

カンファレンス・回診

症例検討会、術前カンファレンス、病棟回診などに積極的に参加し、診断、治療方針の決定、鑑別疾患の考慮など、臨床推論能力を養います。

救急対応

外科系救急疾患の初期対応を学び、診断から治療、他科連携までの一連の流れを経験します。

手技

動脈血ガス採取やCV挿入、胸腔ドレーン挿入、腹腔穿刺、中心静脈カテーテル挿入などの手技を経験します。